

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立武義高等学校		
実 施 期 間	平成26年11月1日(土)～14日(金)		
実 施 概 要	①美濃市産業祭イベント出演(吹奏楽部・書道部) ②公開授業の実施(校内・校外) ③人権教育の観点に立つLHR		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	0	人
	地 域 関 係 者	25	人
実 施 状 況	①美濃市産業祭イベント出演(吹奏楽部・書道部)11月8日 「みんな美濃市がだーいすき」をテーマに第39回美濃市産業祭が開催されました。会場には市内の製造業や農産物生産組合、市民団体など約100のブースが出展され、姉妹都市の北海道士幌町など交流のある市町村による物販の他、今年は「紙の文化交流」友好協定を結んだイタリアのアマルフィ市から紙すき職人の方が来市し、アマルフィ紙の紙すき実演なども行われました。本校では毎年吹奏楽部が演奏を行っていますが、今年は書道部も加わり書道パフォーマンスを披露しました。 ②公開授業の実施(11月4日～14日) 在校生の保護者や中学校の保護者及び中学校の先生に、公開授業を3日間(11日～13日)実施し、参観アンケートなどにおいて広く意見を聞く機会を設けました。期間中は、他教科の授業を参観することで、授業の進め方や生徒把握など、お互いの授業改善に取り組みました。 ③1年生から3年生までの全クラスが、全校統一テーマ「人権について」の話合いをしました。各クラスでは、小グループによる討議や集団討議など、形態やワークシートに工夫を凝らした取り組みが見られました。外部からは美濃市の人権教育連絡協議会から24名が来校されクラス参観の後に全体反省会を行い、感想・ご意見・ご講評をいただきました。武義高校がいじめや差別のない学校として、これからも人権意識を高めていくことを決意しました。		
成 果 及 び 課 題	①吹奏楽部員40名の息のあった演奏を7曲行いました。 (1)ガリバー旅行記より (2)RPG (3)What a wonderful world (4)スーパーマリオブラザーズ (5)アナと雪の女王 (6)恋するフォンチュクッキー (7)ひこうき雲		



書道部員の女子18人が4作品を4つの曲に合わせて書き上げました。

- (1)虹 Aqua Timez
- (2)Go for It!! 西野か
- (3)青い春 back number
- (4)おかえり 絢香



②授業の外部公開では、参観者が1名（中学校の校長先生）のみでした。保護者の参観はなく広報不足を反省しています。今後も、開かれた学校づくりの観点から学校への信頼を構築するために継続して取り組んでいきます。また、教員間での授業参観では79の参観を行いました。参観アンケートを通して、専門的な視点からの指導技術向上に役立つだけでなく、自身の授業では見られない生徒の様子を知ることができました。

③美濃市人権教育連絡協議会の方からのご講評<抜粋>

- ・明るくのびのびと勉強している様子がかがえてほほえましい印象が強かった。
- ・生徒たちが身近な人権に関わる事象について自分の生活や思いと比べながら考えている姿を多く拝見しました。
- ・どのクラスも身近で今日的なテーマを設定されていました上に、生徒が集中して取り組んでいる現状に好感がもたれました。
- ・市広報に毎月掲載されている武義高校の生徒さんの人権に対する意識は高く、この何年もの人権教育が本日の授業でも見受けられました。
- ・どの授業でもワークシートが効果的に活用されていました。一斉授業を予想していたのですが、予想とは大きく違い、見ていて楽しい授業でした。生徒が参加していた授業でした。先生の表情がとても良いことが印象に残りました。生徒に安心感を与えていました。

- ・生徒に授業を進行させることは良いことですが、やはり深まりに欠けます。教師が主導して人権問題について深く考えさせる授業を期待したいです。高校生の深い考え方を聞きたかった。
- ・素直な反面、お互いの考え、意見を議論するという場面は少なく、現代の高校生の特質を感じました。
- ・様々な課題を取り上げておられるのですが、テーマがどのように人権の

力や目を育てるのか、明らかに示されるべきではないかと思えます。学習課題との関連性がやや曖昧です。我が国における重要な人権課題（法務省の人権啓発強調事項17）を3年間の高校生活の中で理解させたい。

